

東北海区沿岸水温予報(2014年)

海域	経過 (4~6月)	現況(7月上旬~ 7月下旬)	見通し (8~9月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>●定置水温 4月~6月までは極めて低いからやや高いで推移。</p> <p>●定線観測 日本海沖合定線観測(6/10-6/11)では対馬暖流の0m層は極めて高い、50m層はやや高い、100m層は平均並み。 太平洋沖合定線観測(6/3-10)では津軽暖流の0m層はやや低い、50m層と100m層は平均並み。</p>	<p>●定置水温 7月は、平均並みからやや高いで推移。</p> <p>●定線観測 (観測なし)</p>	<p>平均並みから高いと予測</p>	<p>6月の日本海沖合定線観測で、対馬暖流の勢力がやや強め、表面水温が極めて高いだったことから、今後、影響が及ぶと予測。一方で春先の冷水の影響が下層で残るものと考えられる。</p>	<p>特になし</p>
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水七発表)	<p>【4月】 表面水温 距岸10海里内は、トドヶ崎沖が「やや低い」のほかに「低い」~「極めて低い」。 距岸10海里以東は、県南部沖40~50海里が「平均並み」のほかに「やや低い」。 100m深水温 距岸10海里内は、県南部が「低い」のほかに「やや低い」。 距岸10海里以東は、県北部沖30海里付近と50海里付近、県南部50海里付近が「やや高い」のほかに「平均並み」。</p> <p>【5月】 表面水温 距岸10海里内は概ね「平均並み」。 距岸10海里以東は、県中部沖合20~50海里が「やや低い」、県南部沖合が「やや高い」のほかに「平均並み」。 100m深水温 距岸10海里内は県南部が「平均並み」のほかに「やや高い」。 距岸10海里以東は、県北部沖合20~40海里が「やや高い」のほかに「やや低い」~「低い」。</p> <p>【6月】 表面水温 距岸10海里以内は、概ね「平均並み」。 距岸10海里以東は、県北部が「平均並み」のほかに「やや高い」~「高い」。 100m深水温: 距岸10海里以内は「平均並み」。距岸10海里以東は、県北部沖合20海里付近と県中南部沖合30~50海里が「やや高い」、県北部から県中北部沖合50海里が「やや低い」~「低い」のほかに「平均並み」。</p>	<p>表面水温 距岸10海里以内は、概ね「やや高い」。 距岸10海里以東は、県北部40~50海里が「平均並み」のほかに「やや高い」~「高い」。 100m深水温: 距岸10海里以内は、県北部から県中部の10海里付近が「やや高い」のほかに「平均並み」。距岸10海里以東は、黒崎沖40~50海里からトドヶ崎沖20~30海里および尾崎沖40~50海里にかけて「やや低い」、尾崎沖20~30海里から椿島沖40~50海里にかけて「やや高い」。</p>	<p>全域「平均並み」と予測</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した統計的予測モデルによる。</p>	<p>ゴマサバ好調。 県北のスルメイカ(イカ釣り)好調。 コウナゴ、ツノシオキアミ、カラフトマス不漁</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水七発表)	<p><4月> 親潮系冷水の影響を受け、本県沖合は平均よりも水温が低くなった。 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は3~9℃台となっており、平均より概ね1~3℃低くなった。 【100m深水温】 亘理沖ライン(38° Nライン)の100m深水温は3~7℃台となっており、平均より2~3℃低めとなった。</p> <p><5月> 親潮系冷水の影響を受け、本県沖合では平均よりも水温が低い状態が続いた。 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は7~15℃台となっており、142° 30' 以東では平均より概ね1~2℃低くなった。 【100m深水温】 100m深水温は3~7℃台となっており、142° 以東では平均より1~3℃低めとなった。</p> <p><6月> 本県沿岸の表面水温は前月よりも1~8℃昇温し、仙台湾では平均よりも高く、本県沖合では平均よりも水温が低めとなった。 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は12~22℃台となっており、先月調査よりも各調査点で1~8℃昇温し、仙台湾では平均より概ね1~5℃高く、142° 10' E以東では平均より概ね1~3℃低くなった。 【100m深水温】 100m深水温は1~9℃台となっており、142° 10' E以東では平均より1~4℃低めとなった。</p>	<p><7月> 本県の表面水温は平均よりも高めとなっており、仙沼沖)及び38° 30' Nライン(雄勝沖)の142° 30' E以東はやや高めで推移する。 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は17~25℃台となっており、平均よりも高めとなっている。 【100m深水温】 100m深水温は2~12℃台となっており、38° 50' Nライン(気仙沼沖)、38° 30' Nの143° 10' E(気仙沼沖)、38° 30' Nライン(雄勝沖)付近では2℃台の冷水がある一方、38° 30' N及び38° Nライン(亘理沖)ともに平均並み143° 10' E付近では12℃台の暖水がみられた。</p>	<p><8月> 38° 50' Nライン(気仙沼沖)及び38° 30' Nライン(雄勝沖)の142° 30' E以東はやや高めで推移する。それ以外は平均並みで推移する。</p> <p><9月> 38° 50' Nライン(気仙沼沖)、38° 30' Nライン(雄勝沖)及び38° Nライン(亘理沖)ともに平均並みで推移する。</p>	<p>水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルによる予測</p>	<p>サバ類、ヒラメ好調</p>

<p>常磐北部 (福島県沿岸: 福島水試 発表)</p>	<p>4月には全定線で観測が未実施となり、詳細な状況は不明である。 5月は表層では平年並みであり、定線別(鶴ノ尾崎、富岡、塩屋崎)でも全て平年並みであった。100m深ではやや低めであり、鶴ノ尾崎では平年並み、富岡ではやや低め、塩屋崎では低めであった。 6月は表層ではやや高めであり、定線別では鶴ノ尾崎、塩屋崎がやや高め、富岡は平年並みであった。100m深では平年並みで、鶴ノ尾崎、塩屋崎は平年並み、富岡でやや低めであった。</p>	<p>2014年6月の沿岸水温予報において、7~8月の100m深について「平年並み~低め基調で推移する」と予測した。 7月の観測の結果、表層ではやや高め、100m深ではやや低めであった。</p>	<p>沿岸、相双沖合では「平年並み」~「やや低め」、いわき沖合海域では「平年並み」~「やや高め」で推移する。</p>	<p>7月に海洋観測で得た水温を用い、本県海域を沿岸、相双沖合、いわき沖合に分け自己回帰分析により8~9月の海水温を予測した結果、「平年並み」(沿岸及びいわき沖合)及び「平年並み~やや低め」(相双沖合)となった。 一方、気象庁の1カ月予報(7/19~8/20)の中で親潮について、「沿岸寄りの分枝の先端が39.5°N、143°E付近、沖合の分枝が40°N、146.5°E付近」、面積は「平年より小さい見込みだが8月上旬には平年並みとなる」と予想されており、本県沿岸への波及は弱いと見込まれる。 また、FRA-ROMSによる9月中旬までの解析結果では、本県沿岸への黒潮系暖水の強い波及はなにももの親潮系冷水の弱い波及が見込まれ、いわき沖合では8月中旬から下旬にかけて黒潮系暖水が波及することが示唆されている。</p>	<p>特になし。</p>
--	---	---	--	---	--------------

<p>常磐南部～鹿島灘(茨城県沿岸; 茨城水試発表)</p>	<p>4月上旬は、暖水波及の影響により、本県北部から中部にかけて表層・100m深ともに「やや高め～高め」となった。また、極沿岸部では「やや高め～高め」であった。潮流の特徴として、全定線の沖合で黒潮本流の強い潮流(2.0～4.0ノット)がみられた。また、沿岸域(会瀬・大洗)ではやや強い真潮(0.7～1.3ノット)が観測された。</p> <p>5月上旬は、暖水波及が続いた影響で、犬吠埼沖合を除く広い範囲で「やや高め～高め」であった。特に、会瀬・大洗沖の50～100m深で「極めて高め」の水温が観測された。潮流については、4月上旬とほぼ同じ傾向であった。</p> <p>6月上旬は、表層では暖水波及の影響が続き、広い範囲で「やや高め～やや高め」となった。一方、親潮系冷水の急激な差し込みにより、犬吠埼沖を除く下層(50m以深)で「やや低め～極めて低め」であった。潮流は5月と同じような傾向だったが、会瀬～鹿島の沿岸域ではやや強い逆潮(0.5～0.7ノット)が観測された。</p>	<p>7月上旬は、表層では「やや高め～やや高め」で推移する。下層については「やや低め～極めて低め」、沖合では「やや高め～やや高め」となった。142°Eまでの範囲では黒潮の強い流れは見られず、会瀬・大洗の沿岸域でやや強い逆潮(0.4～0.7ノット)が観測された。</p>	<p>「やや高め～やや高め」で推移する。</p>	<p>・気象庁の1か月予報によると、親潮先端は39.5°N, 143°E付近に位置し、面積は極めて低い水温積は昨年並みになる(～7.7°C)と予測されている。</p> <p>・4月～6月にかけてに接岸して流れる時、本県沖においてシラス漁が好調で推移しており、3か月で1,341トンの水揚げとなった。</p> <p>・5月の調査船調査において、ツノシオキアミの近縁種である暖水性種 <i>Euphausia nana</i> が大量入網している暖水波及の影響が、4月から続いており、本県沿岸域に運ばれてきたとみられる。</p> <p>・8月中旬には北限が37°N付近に位置すると予測されている。この傾向は9月中旬まで継続する見通しとなっており、本県沿岸域に黒潮系暖水の波及があることが示唆されている。</p>
--------------------------------	--	--	--------------------------	---

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4°C～	+4.0°C～	+6.0°C～	+2.4°C～	+4.0°C～	+4.0°C～
高い(7.5%)	+1.6～+2.3°C	+2.5～+3.9°C	4.0～+5.9°C	+1.6～+2.3°C	+2.5～+3.9°C	+2.5～+3.9°C
やや高い(20%)	+0.7～+1.5°C	+1.0～+2.4°C	1.5～+3.9°C	+0.7～+1.5°C	+1.0～+2.4°C	+1.0～+2.4°C
平年並み(40%)	+0.6～-0.6°C	+0.9～-0.9°C	1.4～-1.4°C	+0.6～-0.6°C	+0.9～-0.9°C	+0.9～-0.9°C
やや低い(20%)	-0.7～-1.5°C	-1.0～-2.4°C	1.5～-3.9°C	-0.7～-1.5°C	-1.0～-2.4°C	-1.0～-2.4°C
低い(7.5%)	-1.6～-2.3°C	-2.5～-3.9°C	4.0～-5.9°C	-1.6～-2.3°C	-2.5～-3.9°C	-2.5～-3.9°C
極めて低い(2.5%)	-2.4°C～	-4.0°C～	-6.0°C～	-2.4°C～	-4.0°C～	-4.0°C～